

# 阿南市行財政集中改革プラン

～行財政改革の断行～



令和3年7月

## 目次

1	阿南市総合計画の策定	1
2	更なる行財政改革の必要性	1
3	集中改革プラン計画期間	2
4	集中改革プランの策定方針	2
5	集中改革プランの実現による「目指すべき姿」	3
6	集中改革プランの「着実な成果」に向けた取組のポイント	3
7	集中改革プラン	3
8	集中改革プランの進行管理	5



## 1 阿南市総合計画の策定

この度、令和3年度を初年度とする「阿南市総合計画2021▶2028～咲かせよう夢・未来計画 2028～」(以下「総合計画」という。)を策定しました。総合計画では、本市の特性や課題を踏まえ、本市の8年後の将来の都市像を「多様な産業が咲き誇る生涯チャレンジ都市 阿南」とし、次の4項目の視点から策定しています。

- 1 人口減少社会に適応した「自主自立」のまちづくり
- 2 次世代につなげる「持続可能」なまちづくり
- 3 「安全で安心」して住み続けられるまちづくり
- 4 未来を切り拓く「革新創造」のまちづくり

8年後の将来の都市像を実現するためには、総合計画の次に掲げる6つの基本政策を柱に、新たな行政需要に対応できるよう、「選択と集中」による行財政改革に取り組む必要があります。

- I みんなが健康で自立した生活ができるまちづくり
- II 安全で安心な暮らしを実感できるまちづくり
- III 豊かな心と生きる力を育むまちづくり
- IV 地域資源を生かした新たなにぎわいと活力を創出するまちづくり
- V 自然と調和した快適で暮らしやすいまちづくり
- VI 市民と共に創る持続可能なまちづくり

## 2 更なる行財政改革の必要性

現在の本市の財政運営は、ここ数年間、財政調整基金の取り崩しにより収支の均衡を図っており、平成27年度時点で約140億円あった財政調整基金残高は、令和元年度には約90億円に漸減しており、一方で、借金である市債残高は、臨時財政対策債を除き平成27年度から令和元年度にかけて15億円増加しています。

こうした財政構造が今後も継続すれば、基金が枯渇する中で、借金のみが膨らむといったことが懸念され、市民サービスにも大きな影響を及ぼしかねないことになります。

加えて、これまでも課題として捉えてきた人口減少や少子高齢化、公共施設等の老朽化対策のほか、今後発生するおそれのある南海トラフ巨大地震や気候変動に伴う豪雨災害等に備え、より実効性の高い防災・減災対策が必要とされており、本市の取り巻く環境は更に深刻な局面に突入しています。

たとえ人口が今より少なくなったとしても、引き続き市民満足度の高い行政サービスを提供していくためには、歳出の更なる効率化等による行財政改革を推進し、将来にわたって持続可能な行財政基盤を構築していく必要があります。

そのためには、「行政を経営する」という視点に立ち、事業の抜本的な見直しとともに、受益と負担の適正化を図りながら、「最少の経費で最大の効果を生み出す」ことが

できるよう、戦略的な施策・事業については着実に実行し、その有効性・効率性を常に確認するなど、経営感覚をもって取り組んでいくことが求められています。

このことから、現行の「第5次阿南市行財政改革推進大綱」が、令和3年度で推進期間が満了し、新たな行財政改革方針を定めることとなっていますが、この方針を前倒しし、単にこれまでの延長線上ではなく、短期的な目標設定の上で具体的な成果をあげる実践的な「集中改革プラン」を、現大綱に代わり新たな改革の推進エンジンとして策定することとします。

※阿南市の財政状況：別紙1

### 3 集中改革プラン計画期間

令和3年度～令和5年度（3年）

### 4 集中改革プランの策定方針

(1) 従来の行財政改革の手法は、行財政改革の基本理念、基本方針、基本目標を掲げた行財政改革推進大綱を策定し、行財政改革推進大綱を実現するために、計画期間（5年）、各年度の取組内容、数値目標等を行財政改革実施計画において定め、実施していくものでありました。

しかしながら、行財政改革として掲げた実施計画は、おおむね達成できているとの自己評価にもかかわらず、財政構造は悪化の傾向にあり、財政の健全化は喫緊の課題となっています。

(2) 「集中改革プラン」では、市政運営の目指すべき方向を定めた新たな総合計画の基本構想の理念のもと、基本計画における行財政運営に係る現状と課題及び基本的な方向性に基づき、選択と集中による短期間での具体的な取組内容を明らかにします。

(3) 今回の「集中改革プラン」に位置付ける事項・目標は総花的でなく、総合計画「基本計画」の基本政策VI「市民と共に創る持続可能なまちづくり」において位置づけた5つの基本目標を踏まえ、特に重点的・集中的に取り組む事項を精選し、徹底した成果主義の下で、具体的な実現へのプロセスを示した戦略的な実践プランとして、次の考え方から重点目標・重点取組項目を選定します。

- 現下の社会経済情勢からして喫緊な取組であって、具体の成果を求められる事項
- これまでの取組により一定の方向性は見えている事項で、集中的に取り組むことにより早期の効果発現（成果）が期待される事項
- 市民ニーズを踏まえ、早期の具体化が求められる事項
- 現行の第5次阿南市行財政改革実施計画の見直しが必要な事項
- 「働き方改革検討チーム」等からの提案事項

なお、目指すべき成果については、期間内での達成を目指すのはもとよりですが、期間内に道筋をつけることも成果とします。

## 5 集中改革プランの実現による「目指すべき姿」

プランに位置付けた「重点取組項目」を3年間で集中的に実践し「着実な成果」を挙げるにより、大規模プロジェクトや災害など、特別な財政需要に対応する場合を除き実質単年度収支（※）の均衡を図り、安定的な財政基盤を確立し、しなやかさのある行財政体質への転換を目指します。このことにより、本市総合計画に掲げる「市民と共に創る持続可能なまちづくり」に向けた取組を着実に推進します。

（※）単年度収支から、黒字要素（基金への積立額や地方債の繰上償還額）と赤字要素（財政調整基金の取崩額）を差し引いた額で、当該年度における実質的な収支を把握するための指標です。

## 6 集中改革プランの「着実な成果」に向けた取組のポイント

- 市民の皆様の納得と共感
- 財政状況をはじめとした市政運営に関するわかりやすい情報公開
- 市職員の改革への意識の醸成
- 行政サービスの改善見直しによる市民満足度の向上
- 「ビルド&スクラップ」の考えに基づく選択と集中

## 7 集中改革プラン

集中改革プランの策定方針に基づき、改革の視点として次の5つの重点目標を定め、目標ごとに重点的・集中的に取り組む項目を次のとおり定めます。

### 【重点目標】

#### (1) 定員適正化

総人件費を意識した職員数の適正化に努め、職員の意欲・能力を発揮できる人材を確保し、育成します。

#### (2) 財政健全化

徹底した内部努力により、歳出削減・歳入増加につなげ、財政調整基金の取崩しを抑えながら、収支均衡を図ります。

#### (3) 公民連携

指定管理者制度や自治体業務の民間委託など、民間活力を積極的に導入し、公共

サービスの「新しい担い手」を増やすとともに、市民サービスの向上を図ります。

(4) 公共施設マネジメント

阿南市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、公有財産の有効活用や維持管理経費の適正化等を推進します。

(5) スマート自治体

先進技術の積極的活用により、業務の自動化・標準化を推進し、行政サービスなどを効率的に提供できる市役所づくりを進めます。

【重点取組項目】

重点目標	重点取組項目	取組の内容
定員適正化	業務の簡素化・効率化による職員数の削減	法改正による定年延長を見据えた計画的な職員採用により職員数を削減します。併せてスマート自治体の推進、指定管理者制度の導入及び民間保育施設の誘致など他の計画の推進による効果を反映させてまいります。
	研修派遣や人事交流、民間人材の活用による人材育成	関係行政機関への人事交流をはじめ、民間企業への研修派遣や民間人材のスキルを活用し、効率的かつ機動的な業務遂行の手段や課題解決に必要な知識や能力を有する人材を育成します。
財政健全化	シーリングの試行的導入	予算要求においては試行的に一部シーリング（予算の要求基準）を設け、各部署がより財政状況を意識し、知恵と工夫を凝らした予算要求を行います。
	特定目的基金の活用	基金設置の経緯を踏まえつつ、市民ニーズや新たな行政ニーズに応える基金の効果的な活用に取り組みます。
	外部資金の活用による特定財源の確保	新規・継続事業を問わず常に国・県の補助メニューについて、多面的な検討を行い、安易に一般財源として要求することのないよう積極的に外部資金を調達します。

公民連携	スポーツ施設等における指定管理者制度・ネーミングライツ制度の導入	「阿南市スポーツ総合センター」をはじめとする各スポーツ施設に積極的に導入します。
	民間保育施設の誘致	羽ノ浦地区における新たな保育所整備において、公立保育所の整備と併せて「公募方式による民間保育所」を誘致します。
マネジメント 公共施設	未利用不動産の売却・貸付	利用されていない土地や建物の情報を集約し、売却・貸付に取り組み、新たな財源の確保及び有効活用に努めます。
	かもだ岬温泉保養施設の在り方の検討	かもだ岬温泉の施設運営について、経営的視点から抜本的に見直します。
スマート自治体	行政手続のスマート化・オンライン化の推進	死亡後の行政手続を専用窓口で受け付けるワンストップサービス「(仮称)おくやみコーナー」の導入、各種行政手続のオンライン化(電子申請)の拡大、押印の見直しなどを行い、手続の時間短縮・省力化を図り、利便性を高めます。

※計画期間内に必要が生じた場合は、重点取組項目を追加することとします。

## 8 集中改革プランの進行管理

### ■PDCAマネジメントサイクルによる進行管理



阿南市行財政改革推進本部  
阿南市行財政改革懇話会